

ビジネスを通じて“偉大な作品”を創る

リネットジャパングループ株式会社 2021年9月期 第2四半期 決算概要

2021.5
リネットジャパングループ株式会社(3556)



ビジネスを通じて“偉大な作品”を創る。

リネットジャパングループが目指すのは、「収益」と「社会性」の両立

本業のビジネスの中に社会課題解決モデルを組み込み
我々の事業成長が社会への貢献につながることを目指します

そんな、後世にも語り継がれる
「偉大な作品」創りを経営理念として掲げています

TOPICS①

- ✓ 巣ごもり需要継続
国内Re事業好調により連結ベースで**上期過去最高益**を達成

TOPICS②

- ✓ リサイクル事業のTVCMを放映（関東・中京圏）
業績上振れ分を今後の大きな成長・認知度向上に向けて投入

TOPICS③

- ✓ カンボジア中央銀行デジタル通貨“Bakong”ビジネスの展開
日本のフィンテックベンチャー「**ソラミツ社**」との**JV**設立
将来的に「デジタル銀行」への参入を目指す

TOPICS④

- ✓ カンボジア割賦・リース債権処理
順調に推移。但し、現地では**新型コロナ影響**が遅れて拡大。**完了は来年度へ**

TOPICS⑤

- ✓ ホールディングス体制へ移行
各「ニッチトップ」が分散展開された事業ポートフォリオを有する
企業集団を目指す

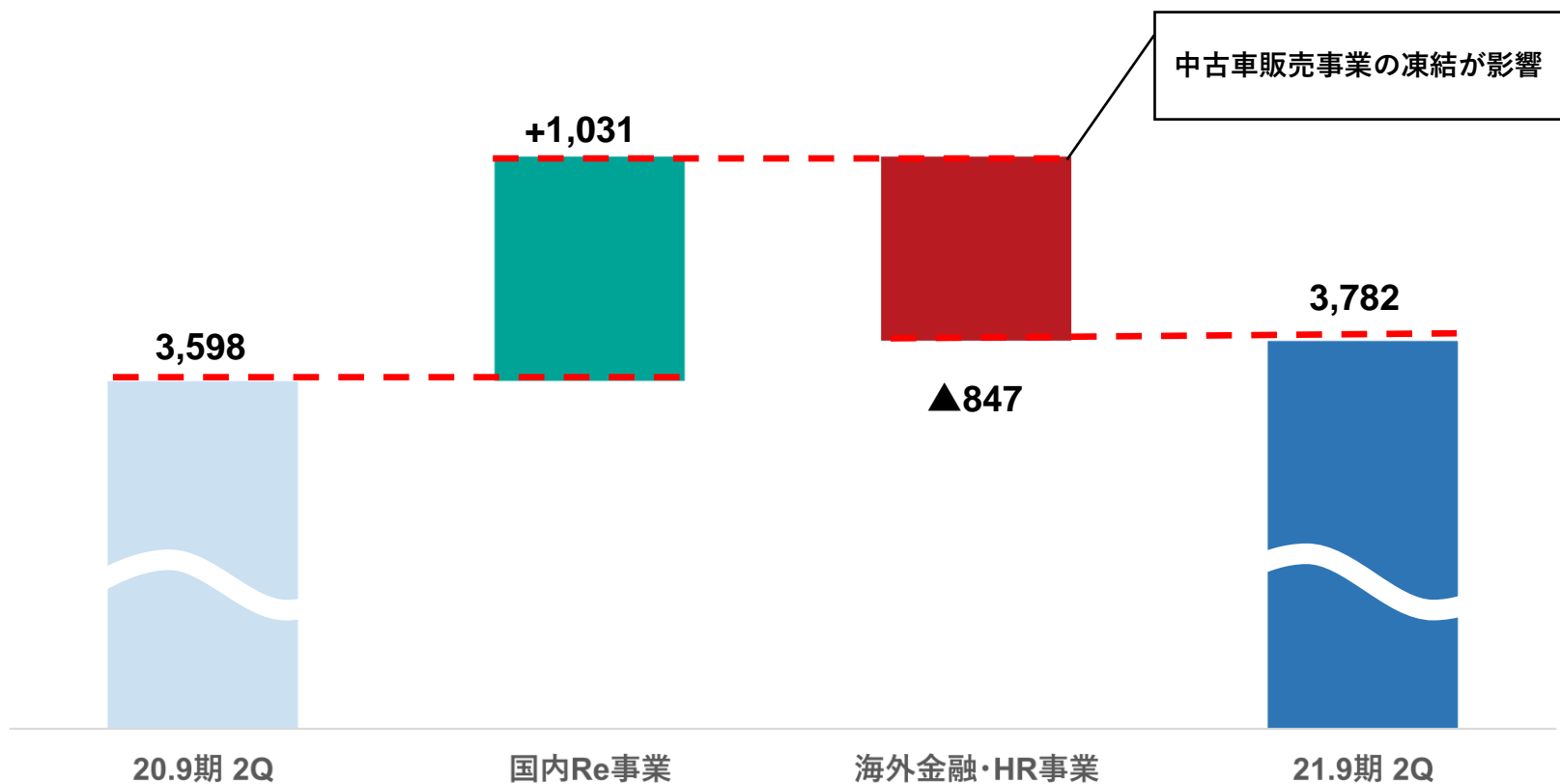
2021年9月期 第2四半期
決算ハイライト

巣ごもり需要継続

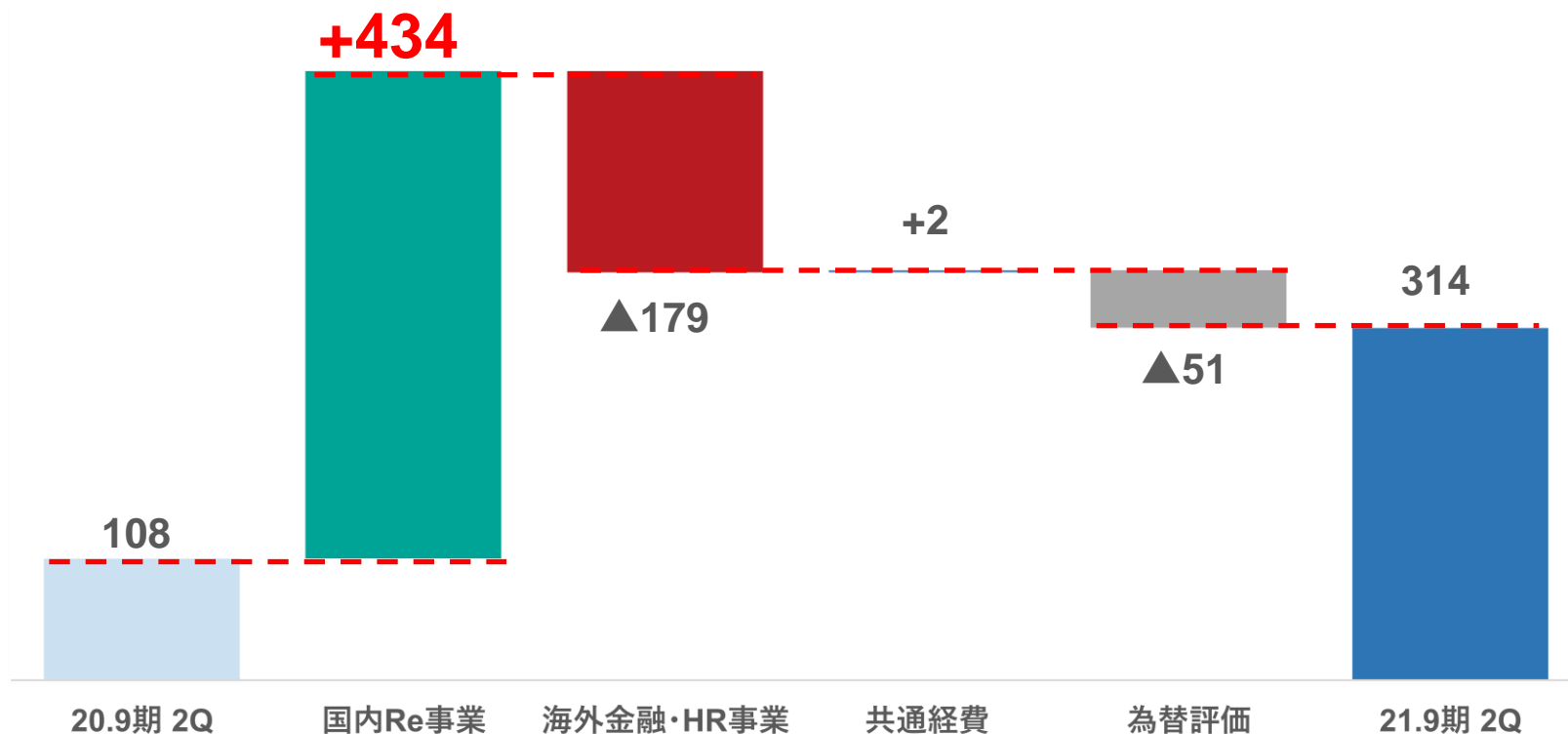
国内Re事業好調により連結ベースで上期過去最高益を達成

	連結 単位：百万円	21.9 /2Q累計	対20.9 /2Q累計	
			金額	%
ReNet全社	売上高	3,782	+184	+5.1%
	経常利益	314	+205	+189.9%
国内Re事業 リユース リサイクル	売上高	3,285	+1,031	+45.8%
	経常利益	721	+434	+151.5%
海外金融 HR事業	売上高	497	▲847	▲63.0%
	経常利益	▲65	▲179	-

国内Re事業は前年同期比約10億円増の146%と好調
海外車両販売事業凍結影響を打ち返し上半期過去最高売上高



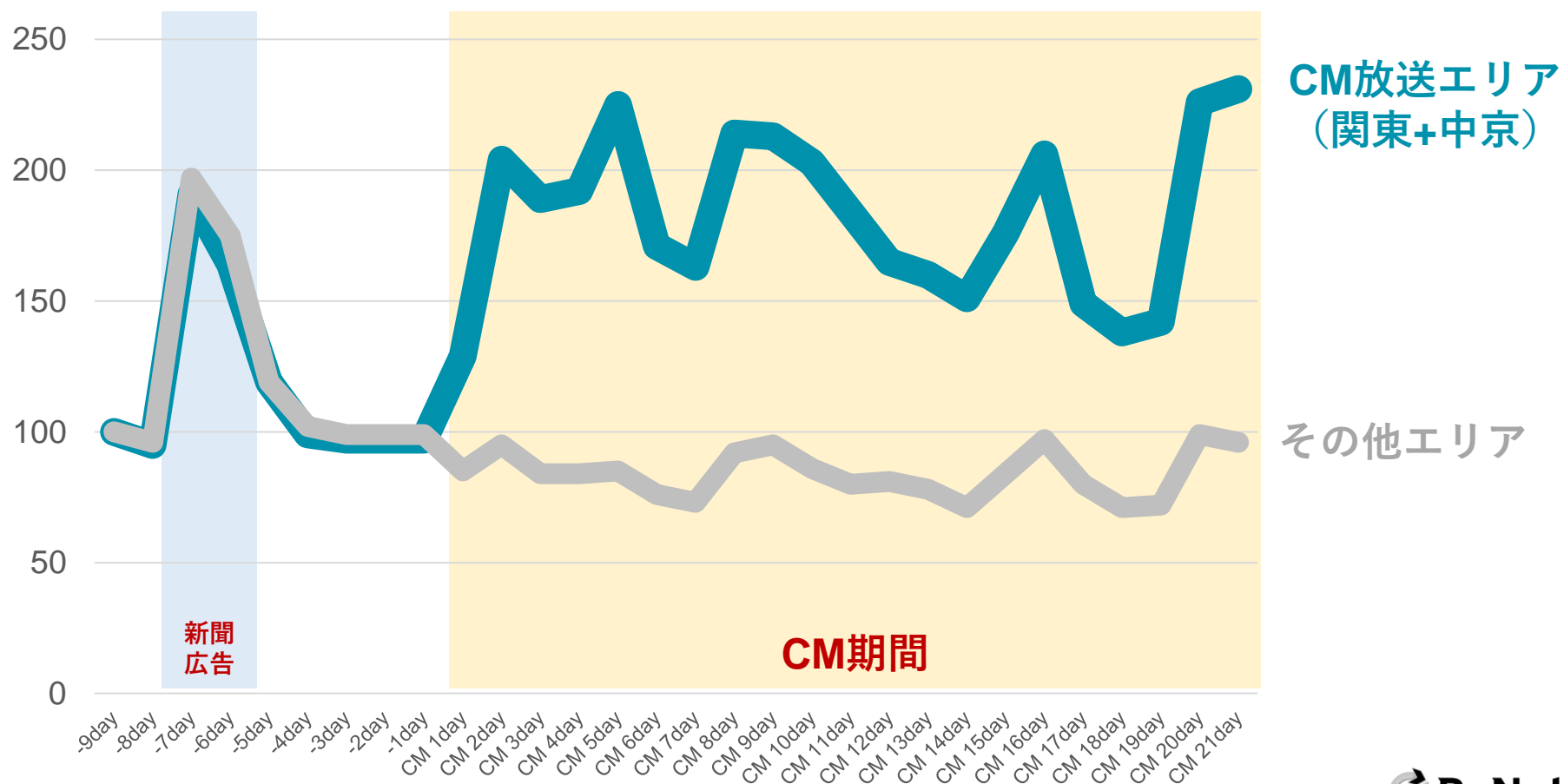
国内Re事業は前年同期比2.5倍へ拡大し業績をけん引
グループ全体では前年同期比約3倍(2億円増)と大幅増益



重要トピックス

- ✓ CMにより、新聞広告を超える集客に成功
- ✓ 認知向上が、今後のパソコン回収量の拡大へ（=新センター開設を検討中）

■CM前後におけるHPセッション数の推移（4-5月、CM開始前を100とした推移）



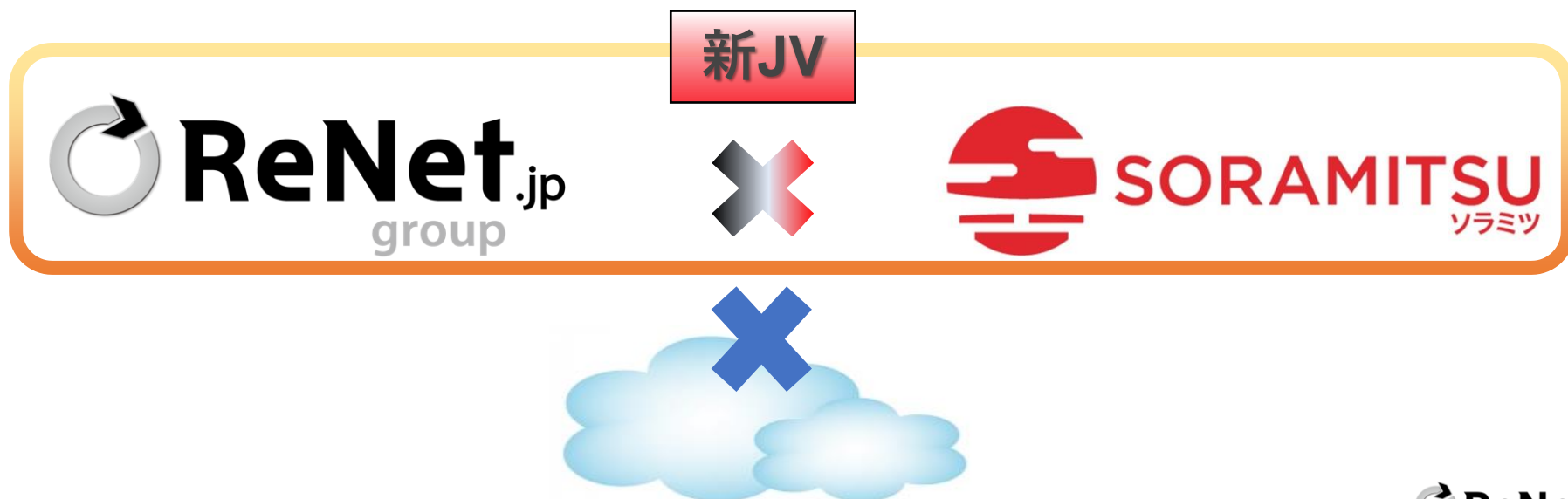
- ✓ 2021年6月、カンボジアでの中央銀行デジタル通貨の実証調査開始
- ✓ **ReNet Soramitsu Digital Currency Architects Co., Ltd.** (仮) 設立合意
- ✓ 合弁会社はソラミツ・ホールディングス AGと協働事業

会社概要

- ✓ 会社所在地 : カンボジア王国プノンペン都
- ✓ 代表者 : 松尾俊哉 (当社海外事業管掌取締役)
- ✓ 出資比率 : 当社80%、ソラミツ社20%
- ✓ 事業目的 : カンボジアでの中央銀行デジタル通貨“Bakong”普及並びに事業化に向けた実証調査
- ✓ 設立予定 : 2021年6月

✓ 新事業の骨子

- サービス開始に向けた事業検証のための調査会社
- カンボジアのリネット金融グループ会社とのシナジーを活かし Bakongを活用した新たなサービスを提供
- Bakong普及に向けた実証事業開始、更にパートナーが参画予定
 - オールジャパンチームでカンボジアの金融包摂への貢献



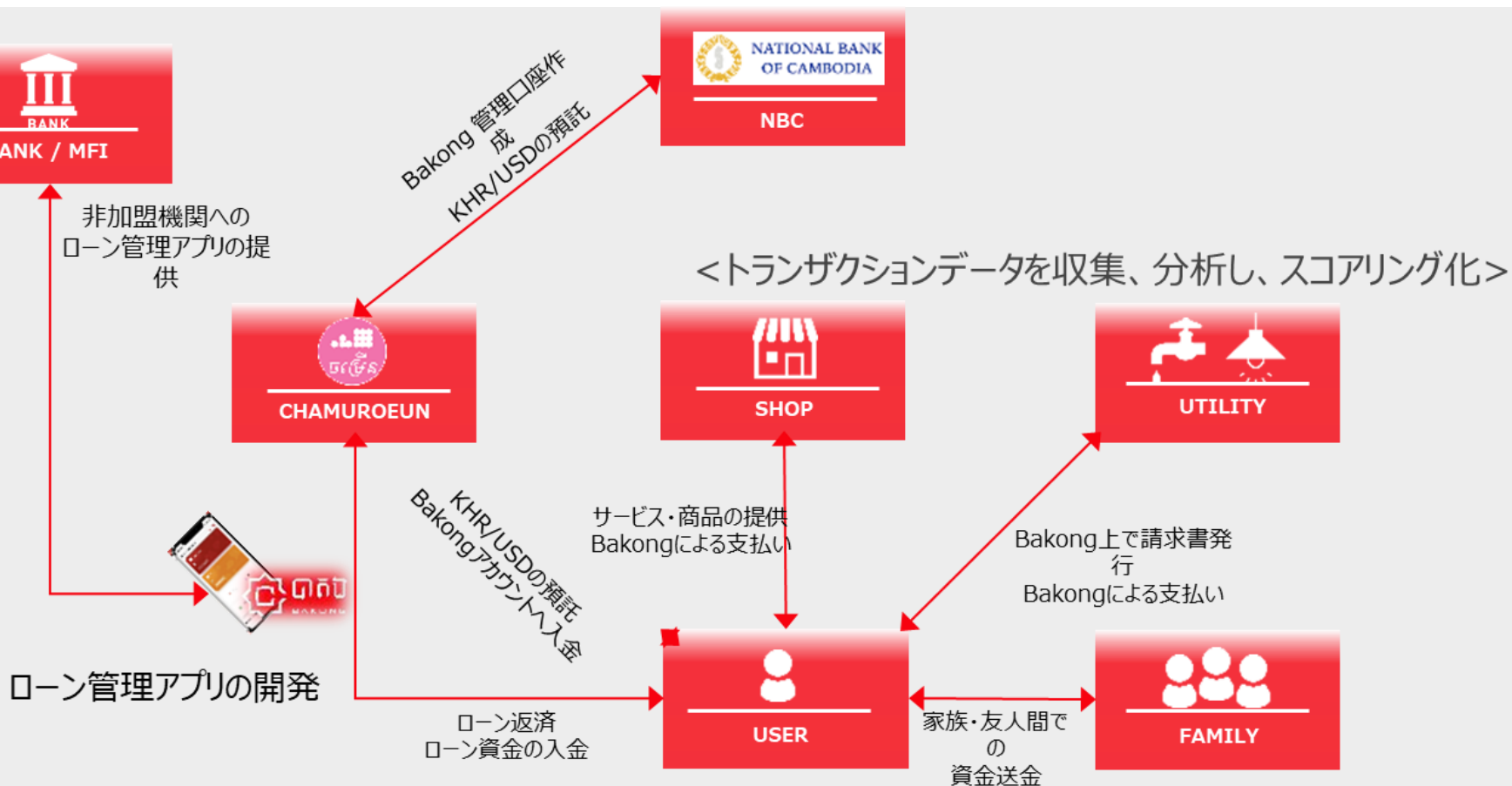
- ✓ 中央銀行デジタル通貨Bakong普及とサービス提供を実現
- ✓ 更に、将来的なデジタル銀行への参入を目指す

デジタル銀行への参入機会



様々な用途拡大につき調査及び実証化検証を今後実施

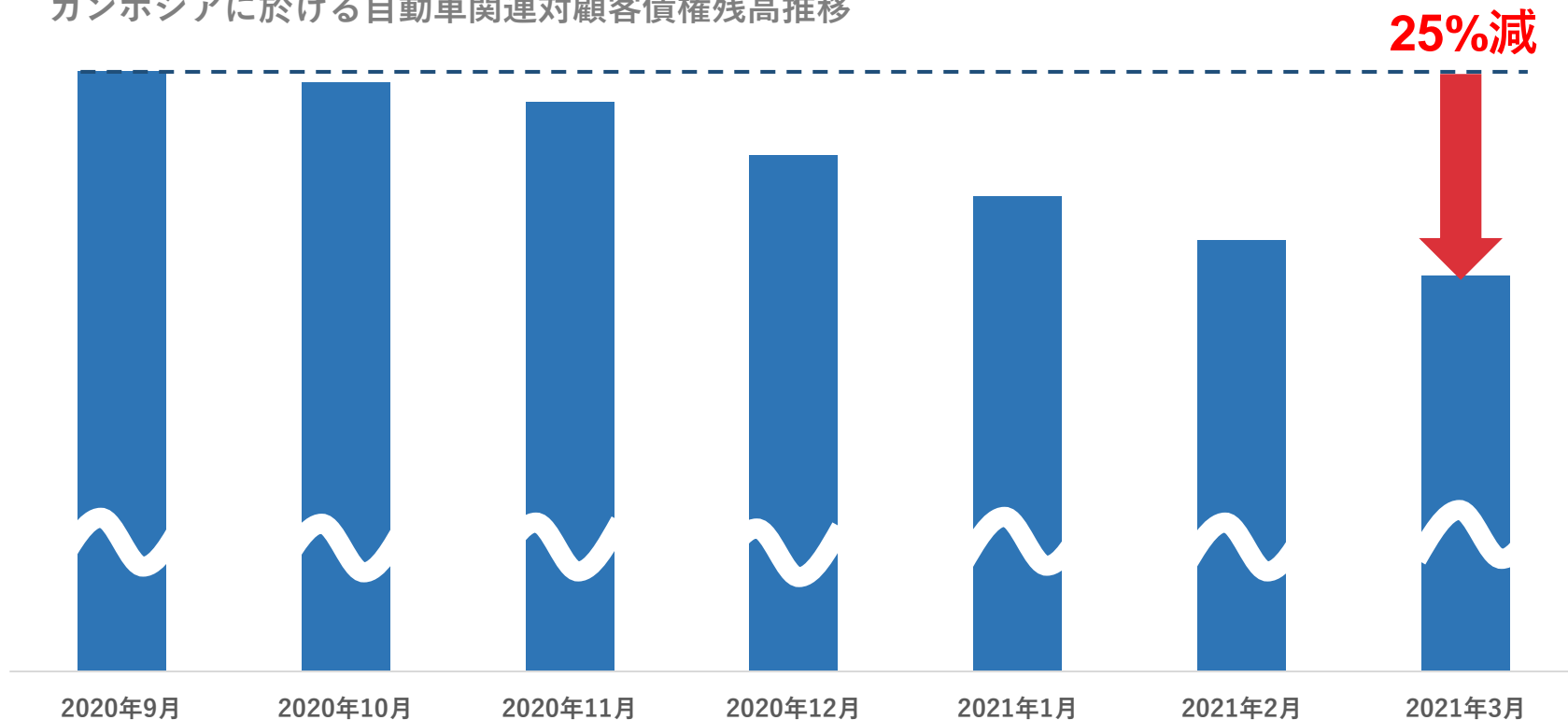
- ・ Bakong バウチャーカードの開発
- ・ 行政サービスの支払いへの利用
- ・ 土地の権利証をトークン化
- ・ 請求書の作成機能の開発



債権回収は順調に進展

現地での新型コロナ感染拡大影響あるも **着実に現地事業再編を進めていく**

カンボジアに於ける自動車関連対顧客債権残高推移



車両回収・販売ではリアルオークション形式に加え
更にインターネットオークション導入で対応力を拡大中



- ✓ 2021年4月1日 ネットオフ株式会社を会社分割により設立
→ リユース事業を単独子会社化し承継



- ✓ リネットジャパングループ株式会社は**純粹持株会社へ移行**

狙い

- ✓ リネットジャパングループ（持株会社）は各事業への**オンハンスを維持**しながら、企業集団全体の**グループ経営理念実現**を推進
- ✓ 各社は「**ニッチトップ**」事業としてグループ全体の分散ポートフォリオ構築に貢献

「収益」と「社会性」の両立



新設による分社化



純粋持株会社へ移行



リユース事業

ネットオフ株式会社



小型家電リサイクル事業

リネットジャパンリサイクル株式会社



障がい福祉事業

リネットジャパンソーシャルケア株式会社



人材送り出し事業

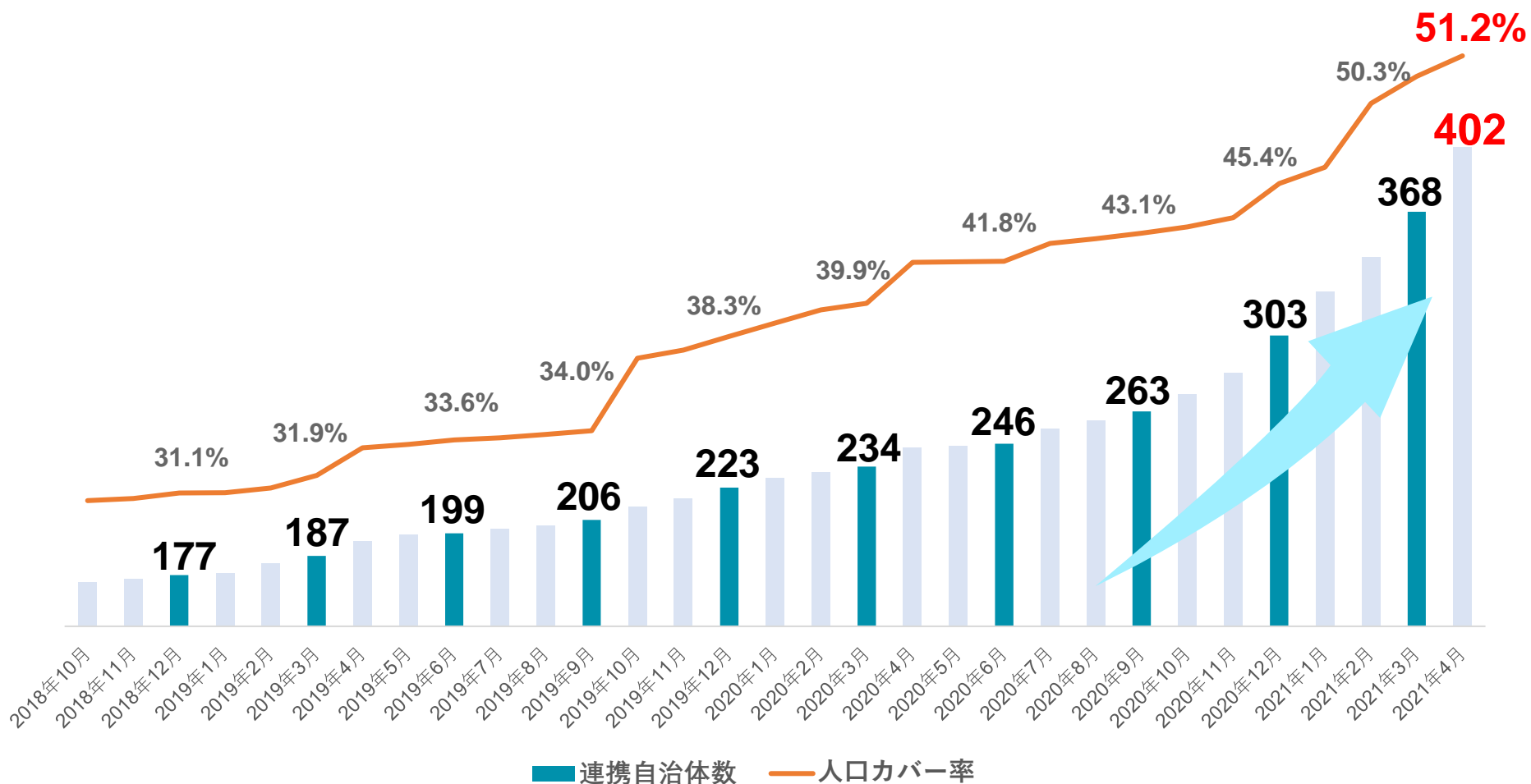
リネットジャパンHR株式会社
リネットカンボジアHR社

海外金融事業

チャムロンマイクロファイナンス社
プレボア (カンボジア) マイクロインシュアランス社
その他

連携数増加は加速
17政令指定都市と連携

今期中500超が視野に
人口カバー率は50%を超える



障がい福祉の領域へ参入し、グループホームを展開
知的・精神障がいの方向けの「グループホーム（住）」

既存事業（リユース・リサイクル）からの「就労継続支援B型事業所（職）」を
組み合わせたビジネスモデル

リサイクルビジネスでの全国400以上の自治体との提携も活かした、
障がい者の「住」 + 「職」 + 「行政」連携モデルへの取り組みを拡大

既に6拠点開設に目途



全国1,000拠点を目指す



20年12月オープン



21年1月オープン



21年3月オープン



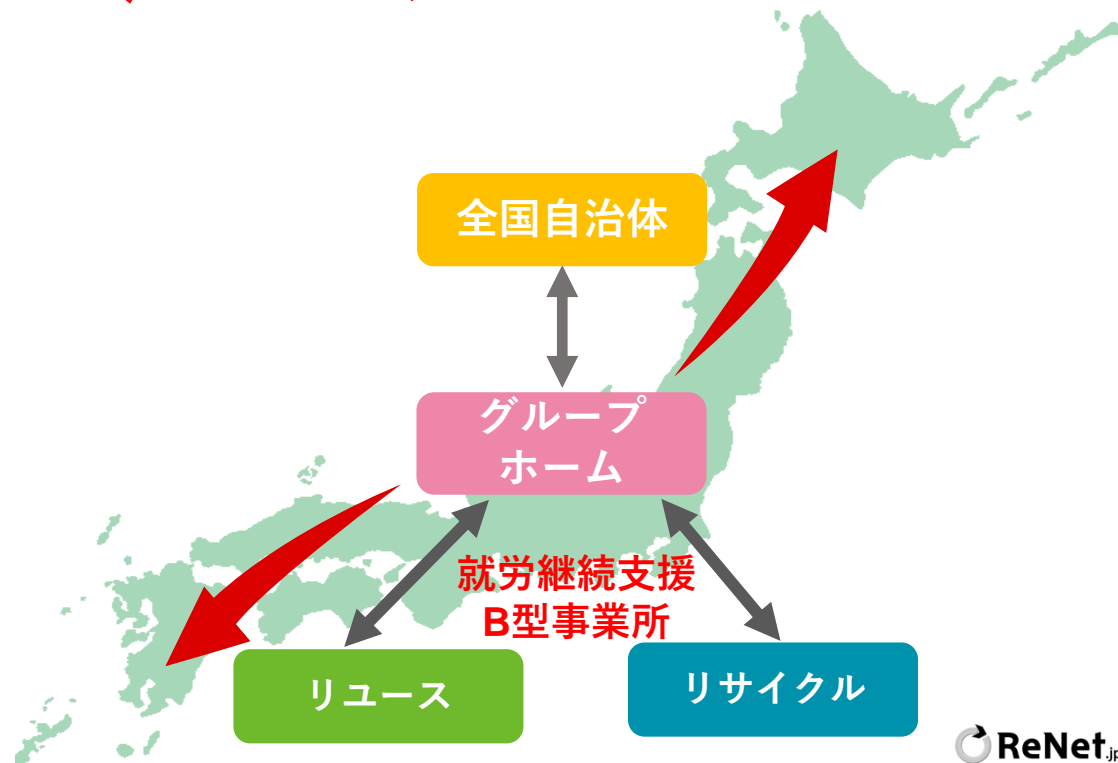
21年4月オープン



21年6月オープン予定



21年8月オープン予定



国際NGO組織である

ワールド・ビジョン・カンボジア（WVI-C）とパートナーシップを締結

水産養殖の商業化プロジェクトにて
生産・加工・販売者への
新たな金融サービスを開始

カンボジアの水産養殖業の
成長・発展を支援し、
従事者・家族の収入安定化を促進

チャムロン社を軸に、金融サービスに加えて、
これまで農業従事者に提供してきた教育やビジネス開発のサポートを行い
引き続きカンボジアの発展に貢献していく

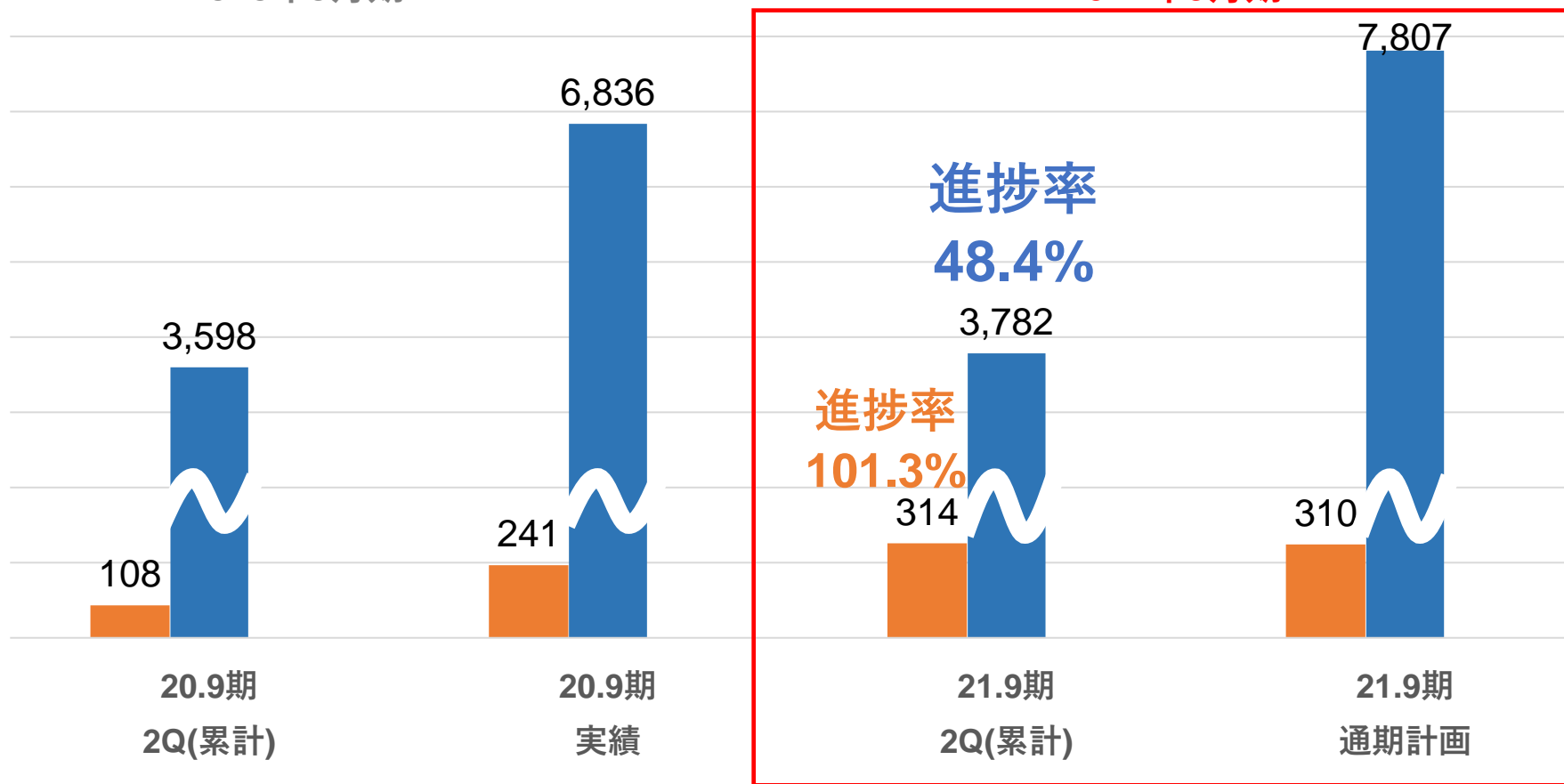


今期の業績見通しについて

当初計画に対して売上は順調に推移・利益は上期で達成
 超過利益については中長期的な成長に向け
 国内Re事業を中心として戦略投資

2020年9月期

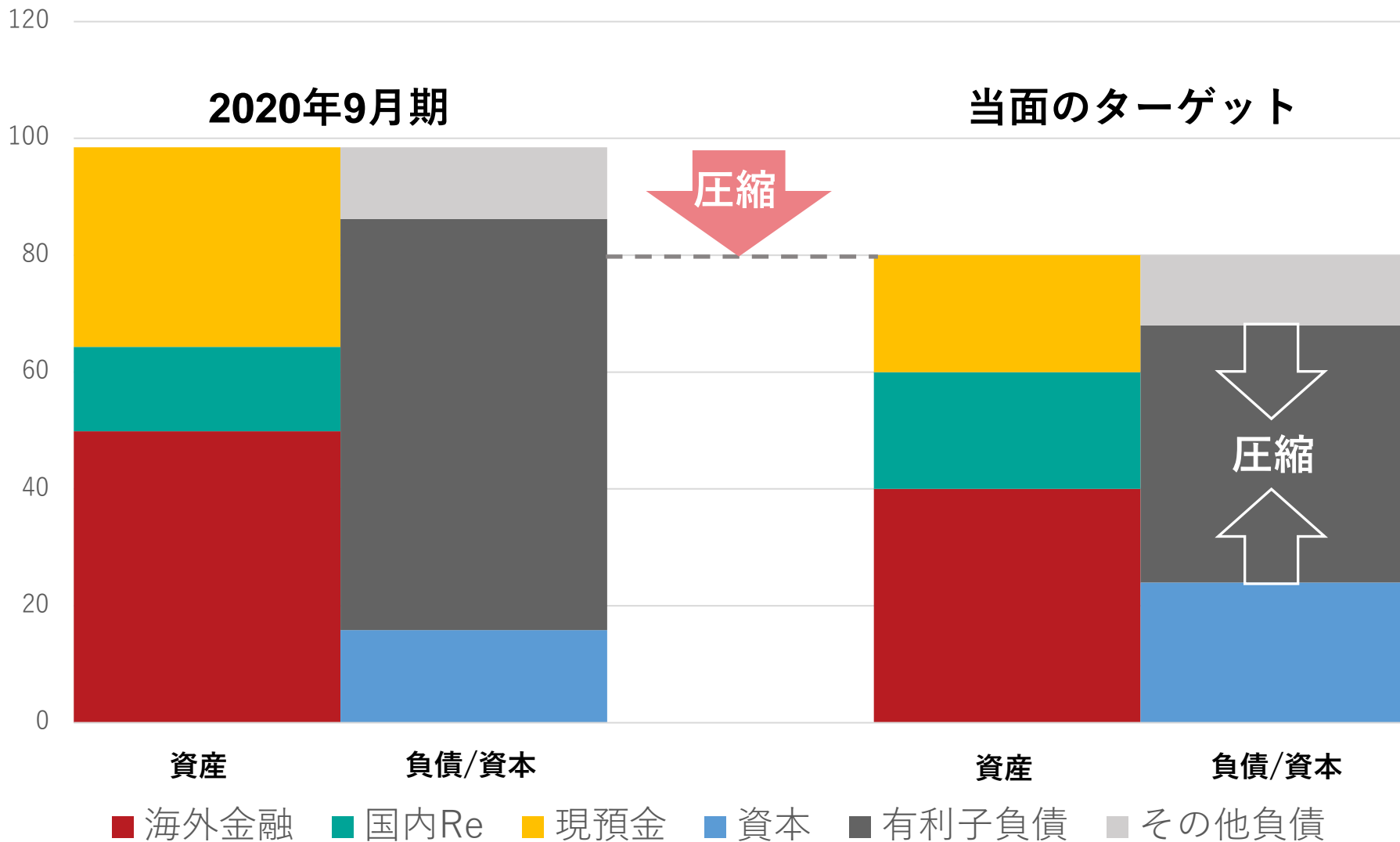
2021年9月期



■ 売上高 ■ 経常利益

単位 (百万円)

海外を中心とする資産・有利子負債を一旦圧縮、次期成長戦略へ備える



参考資料
(連結並びに各事業状況)

国内Re事業が好調に推移し事業をけん引

(百万円)	20年9月期 第2四半期累計	21年9月期 第2四半期累計	対前年同期差	対前年同期比
売上高	3,598	3,782	+184	+5.1%
売上総利益	2,042	2,776	+734	+35.9%
販売費及び 一般管理費	2,010	2,425	+414	+20.6%
営業利益	31	350	+319	+10倍
経常利益	108	314	+205	+189.9%
税金等調整前 当期純利益	85	232	+147	+171.1%
法人税等	44	131	+87	+198.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	40	101	+61	+151.8%

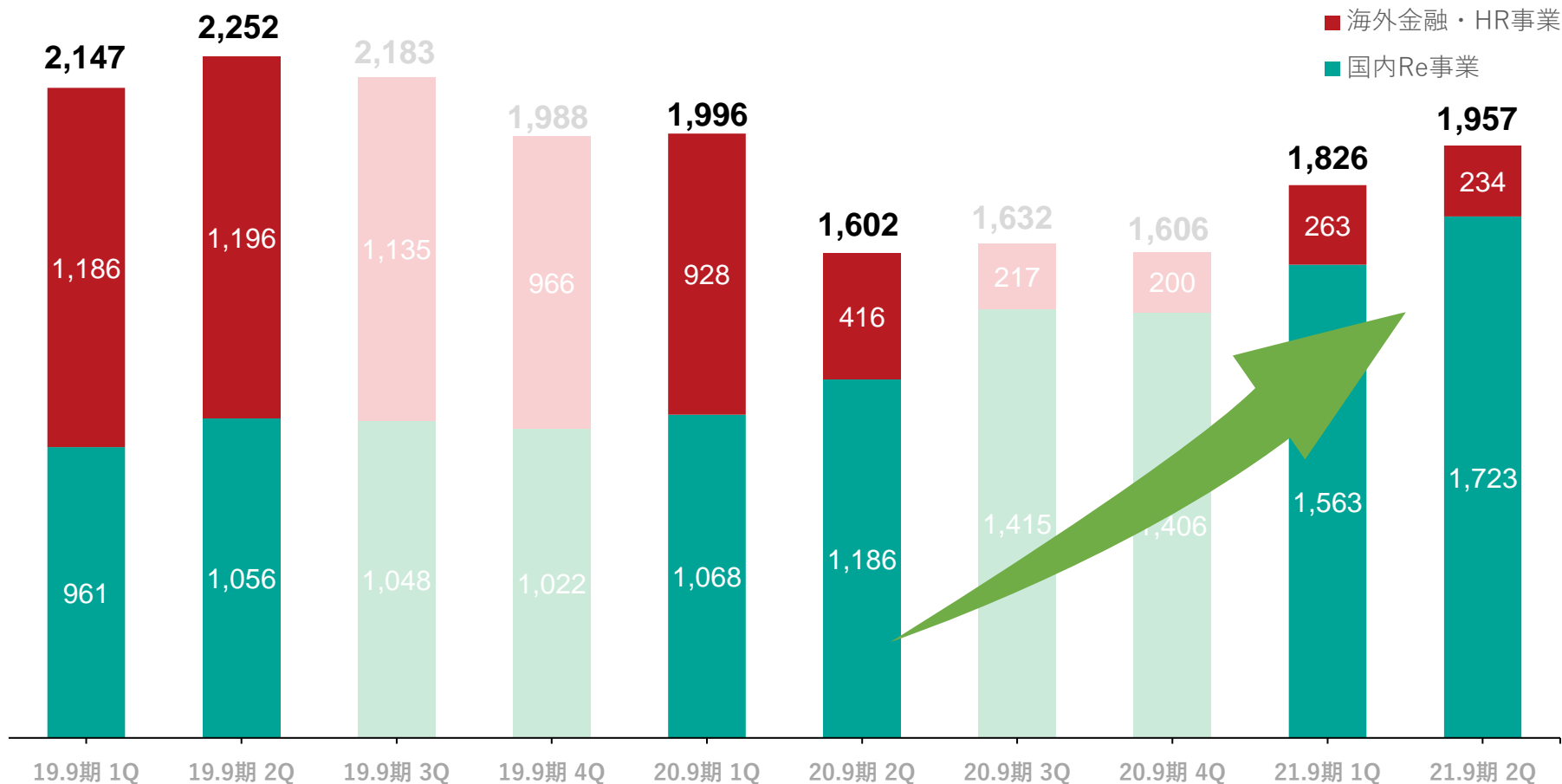
適正な総資産規模・資本/負債バランスへ調整を進める

(百万円)	20年9月期末	21年9月期 第2四半期	対前期差
流動資産	8,449	8,412	▲36
内、現金及び預金	2,897	2,720	▲176
内、貸倒引当金	▲ 1,487	▲ 1,262	+225
固定資産	1,032	1,046	+13
繰延資産	18	16	▲2
資産合計	9,500	9,474	▲25
流動負債	3,767	3,610	▲157
固定負債	4,041	4,193	+151
負債合計	7,809	7,803	▲5
純資産合計	1,691	1,671	▲19
負債・純資産合計	9,500	9,474	▲25
自己資本比率	15.7%	17.5%	+1.8%

国内Re事業は**巣ごもり需要継続、上期過去最高売上高を計上**
 海外金融・HR事業は**車両販売事業の凍結が影響**

売上高：3,783百万円

前年同期比：+5.1%

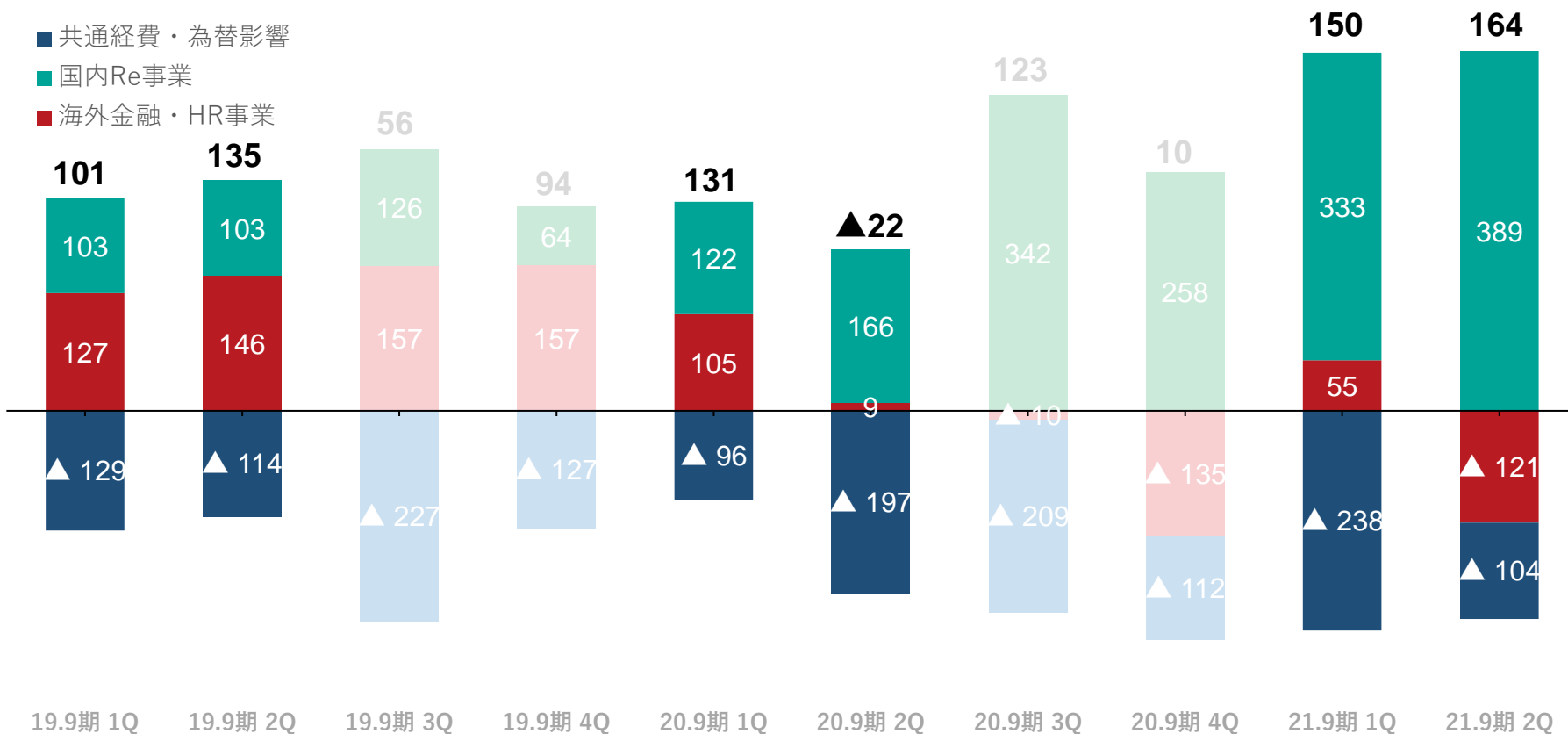


国内Re事業の高い限界利益率により**売上拡大が利益貢献**
 海外金融・HR事業の影響を打ち返し**上期過去最高益**

経常利益：314百万円

前年同期比：+189.9%

- 共通経費・為替影響
- 国内Re事業
- 海外金融・HR事業



現下のライフスタイル変化を受け需要拡大が続く

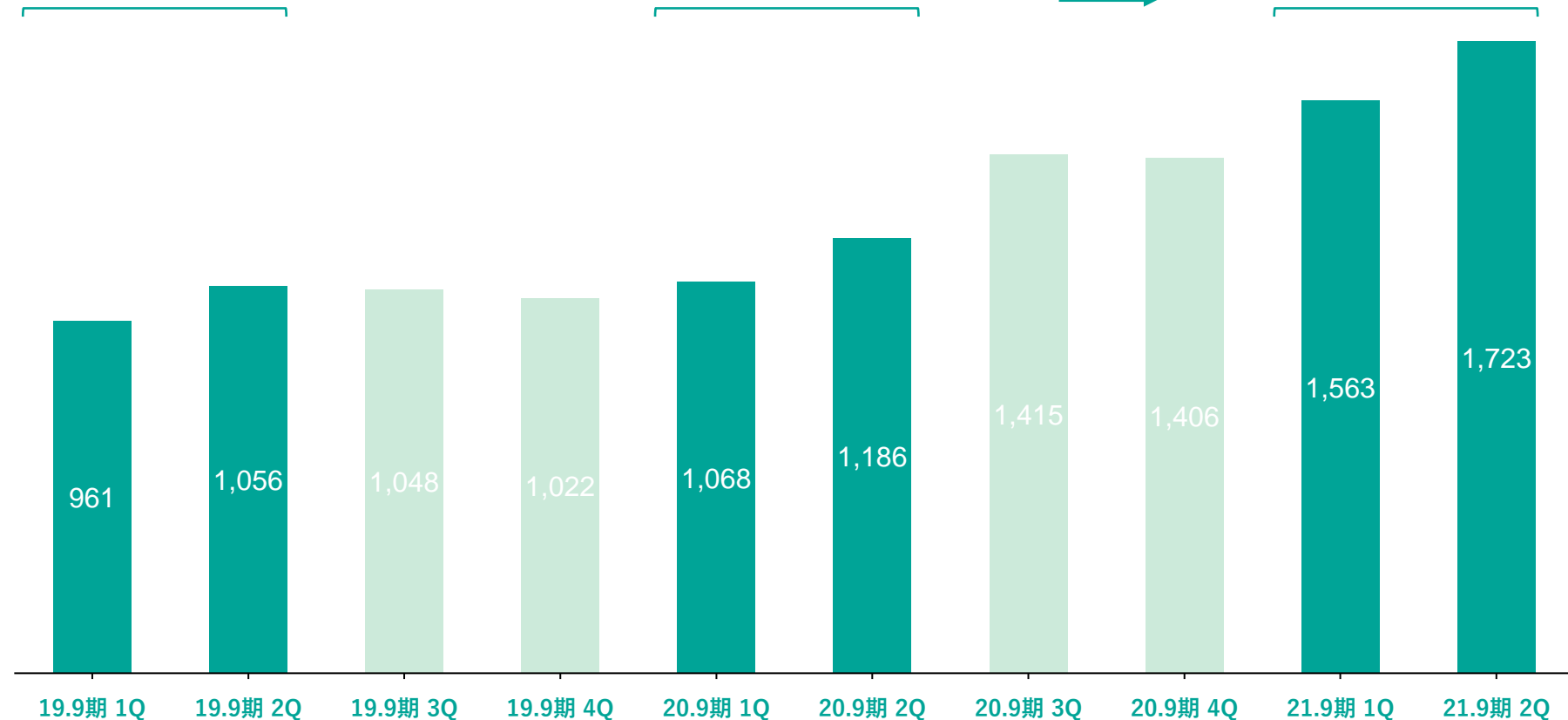
売上高：3,285百万円

前年同期比：+45.8%

19年9月期 2,017百万円

20年9月期 2,254百万円

21年9月期 3,285百万円



単位 (百万円)

リユース・リサイクルは限界利益率が高く利益増に貢献

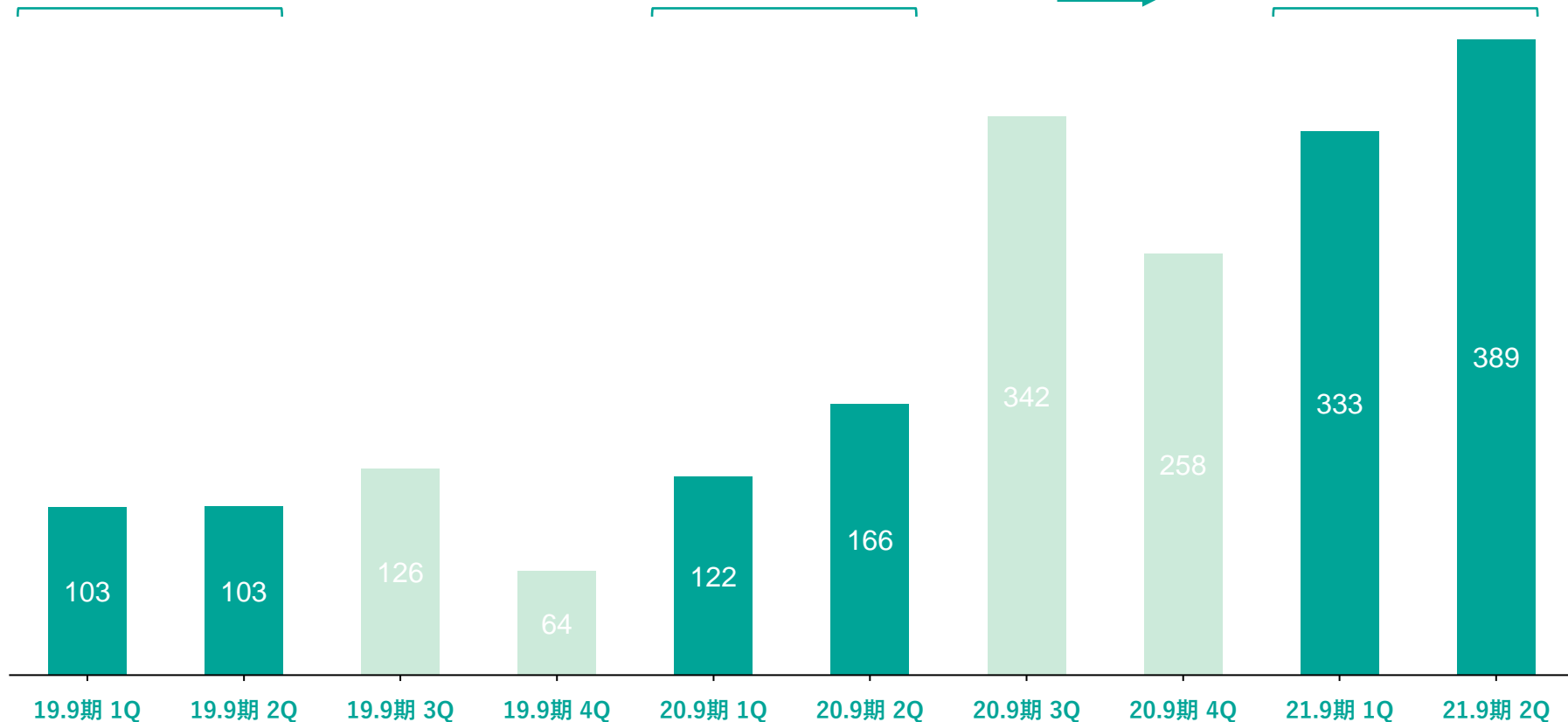
経常利益：722百万円

前年同期比：+151.5%

19年9月期 206百万円

20年9月期 287百万円

21年9月期 722百万円

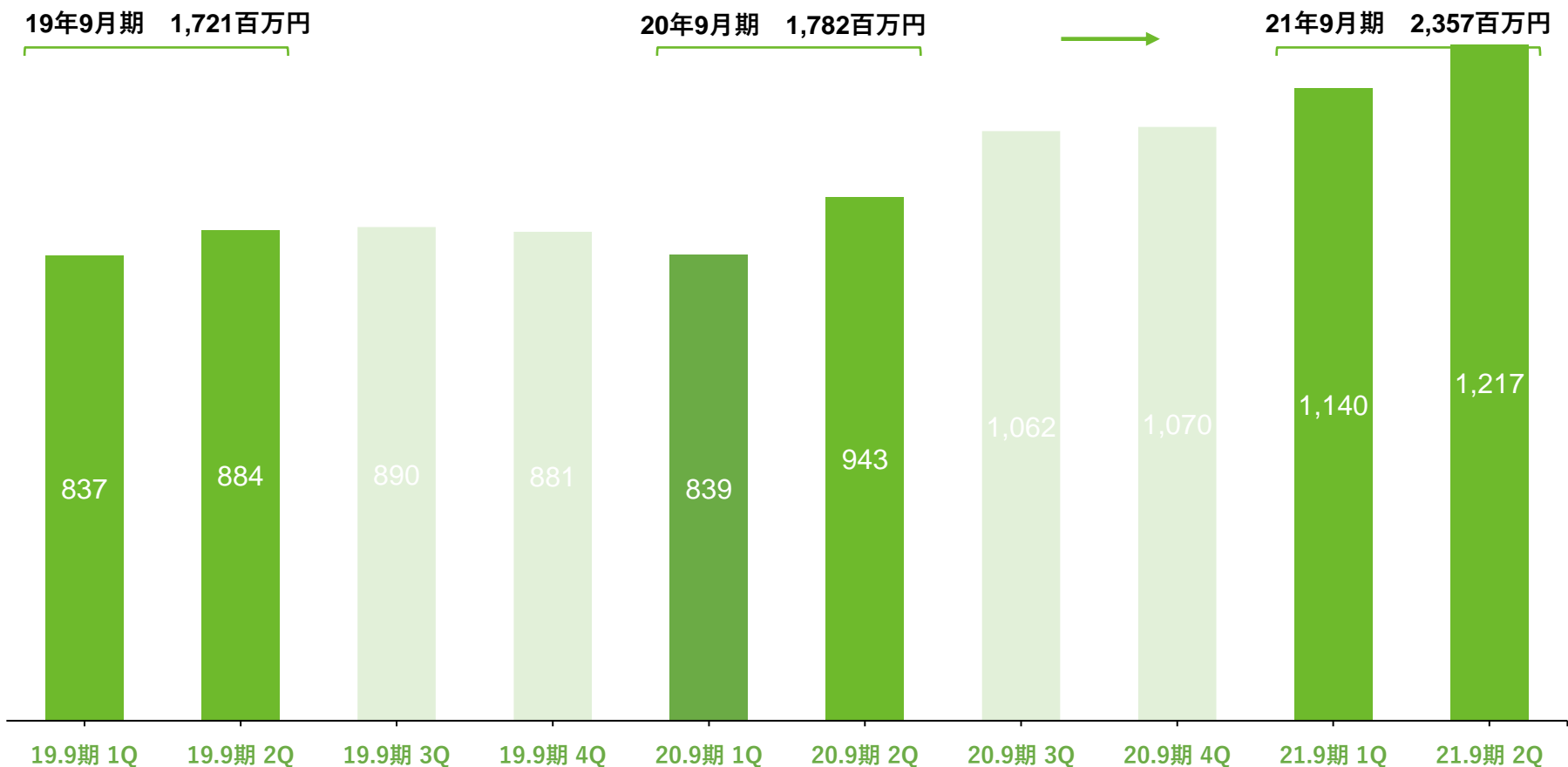


単位 (百万円)

ライフスタイルの変化で業績を伸ばす（店舗 → ネット）

売上高：2,357百万円

前年同期比：+32.3%



自治体との連携を進めることで申込件数が増加し売上を伸ばす

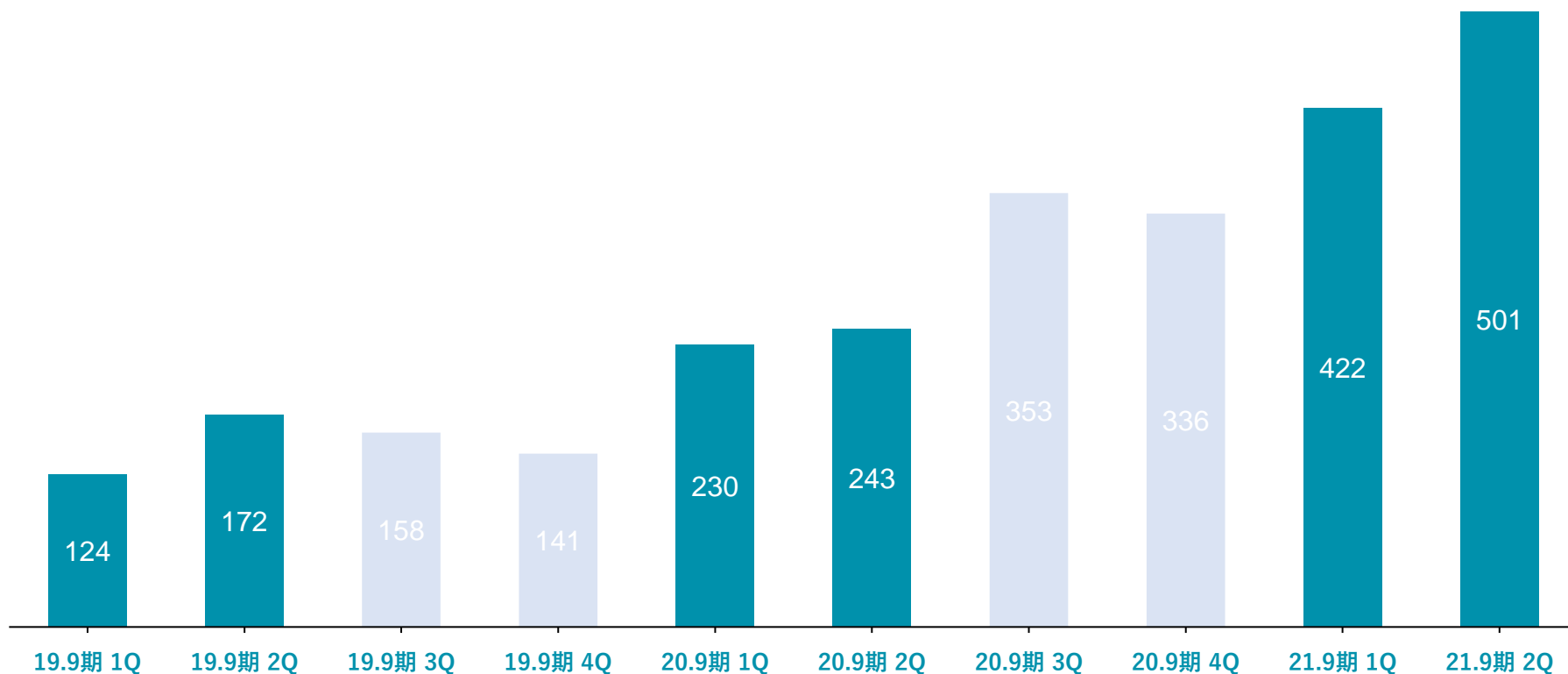
売上高：923百万円

前年同期比：+95.4%

19年9月期 296百万円

20年9月期 472百万円

21年9月期 923百万円

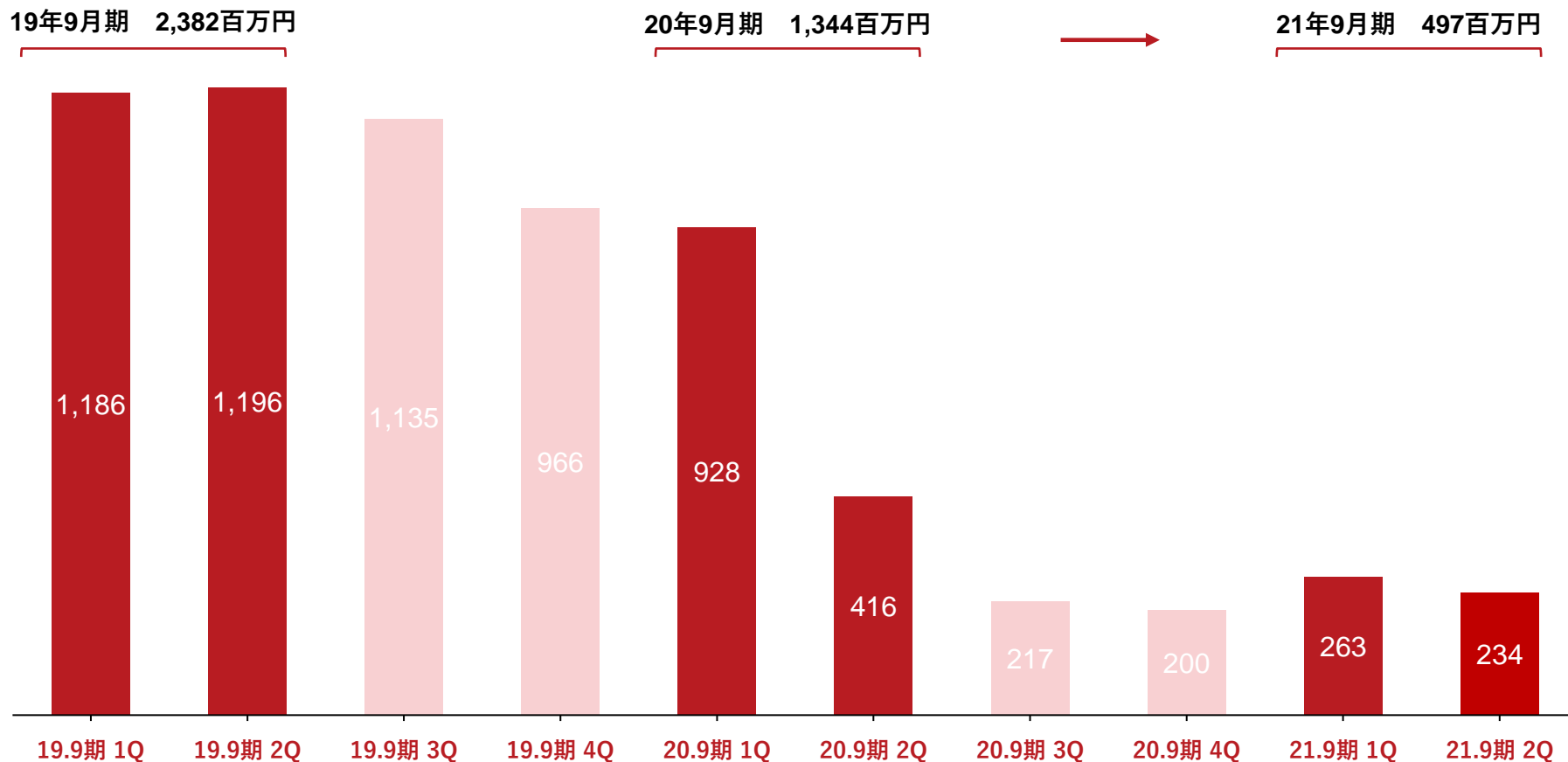


単位 (百万円)

車両販売は新規営業凍結を継続、人材送出しは入国制限の影響を受ける

売上高：497百万円

前年同期比：▲63.0%

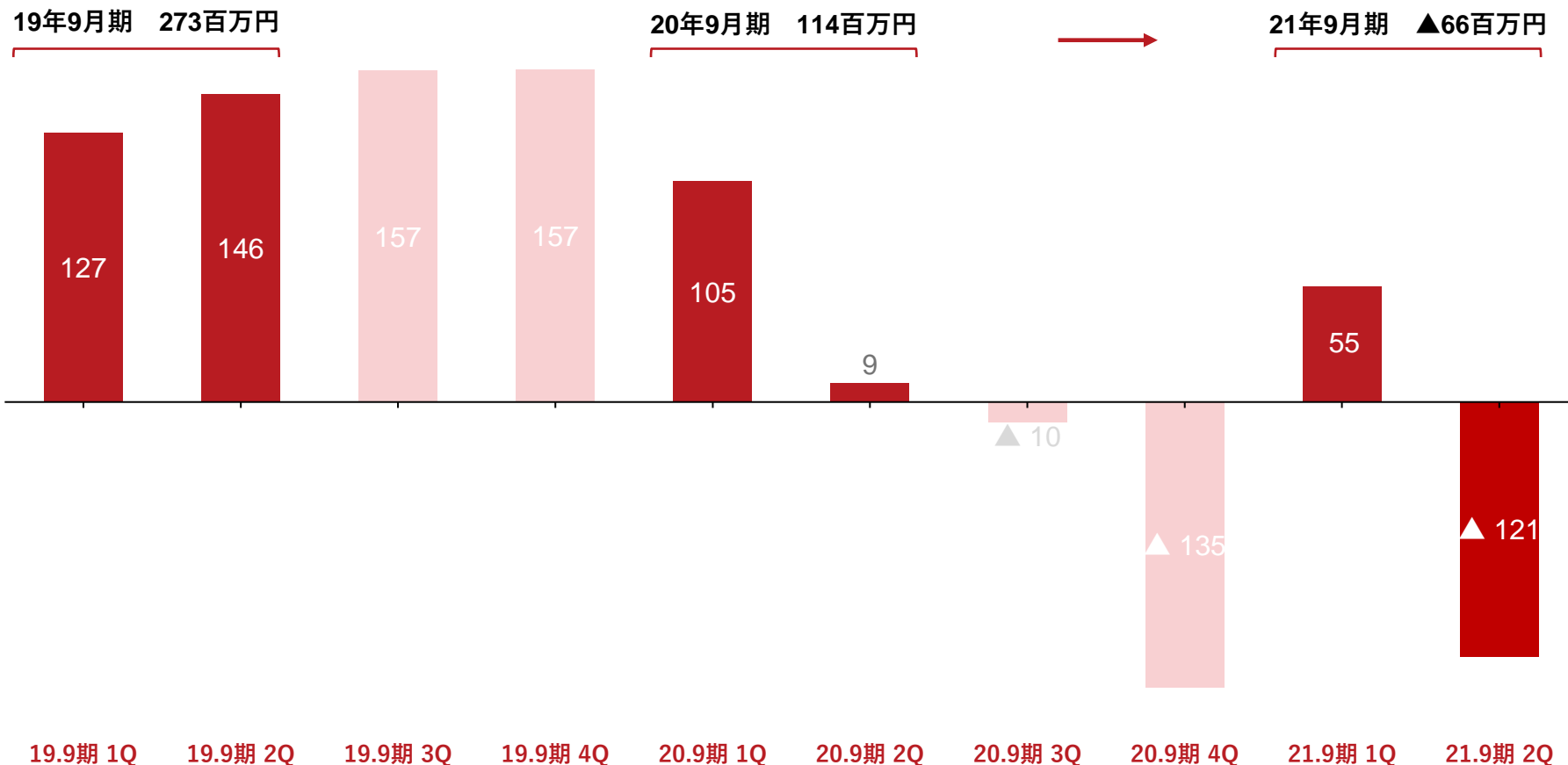


単位 (百万円)

車両販売は新規営業凍結を継続、人材送出しは入国制限の影響を受ける

経常利益： ▲66百万円

前年同期差： ▲180百万円



単位 (百万円)

コロナ禍を勘案、保守的な融資方針であるも、堅調に推移

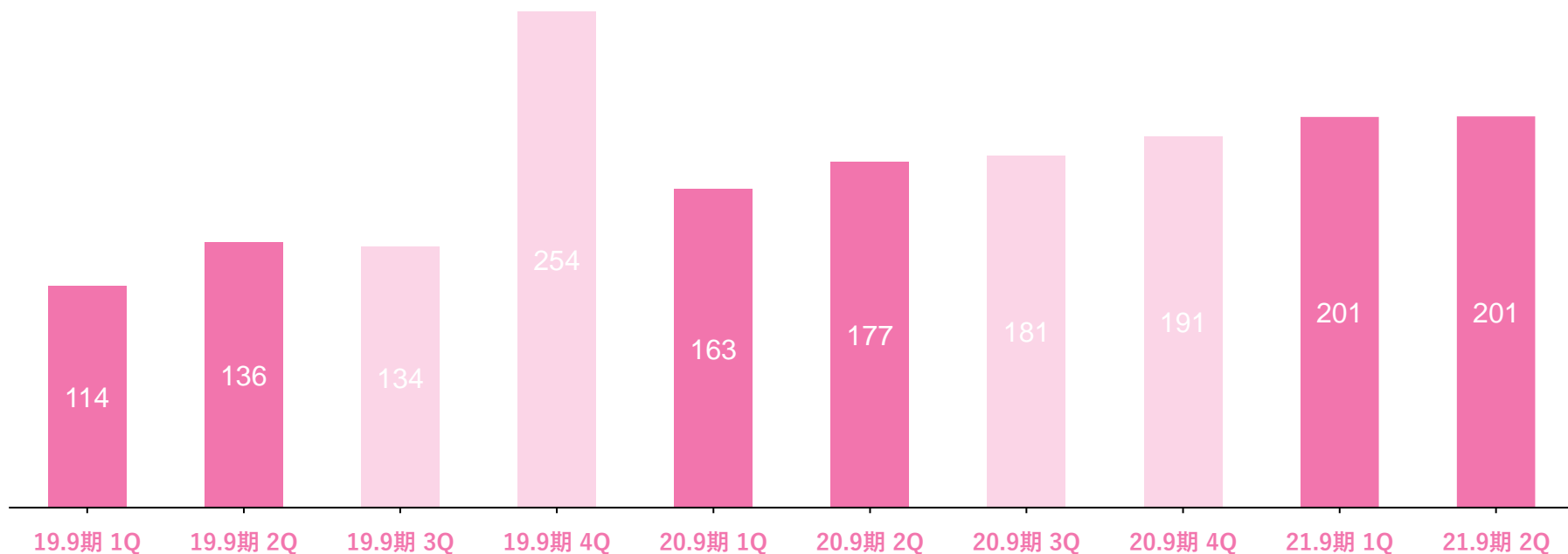
売上高：401百万円

前年同期比：+17.8%

19年9月期 250百万円

20年9月期 341百万円

21年9月期 401百万円



リネットジャパングループ株式会社 管理本部 IR担当 e-mail : ir@renet.jp

当資料は、リネットジャパングループ株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。